
君といたかったから。

高林桜花

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君といたかったから。

【コード】

N0514L

【作者名】

高林桜花

【あらすじ】

フランス兄ちゃんとイギリスクンの話です

「これでよし・・・っと。」

今日はイギリスと一緒にディナーをすると約束をしていた。なぜなら会議の資料作りを手伝ってもらいたかったからだ。

「おい！来たぞー」

「上がってきてくれ！」

いつもはふざけて深夜までかかるので今回こそは真面目にしようと考えていた。

「なんでディナーの用意をしているんだ？」

「まずは腹拵えからだろ！そうじゃないと力入らないしさ。」

今日のディナーはピザにした。もちろん手作り。

「お前が作ったのか？」「そうさ！おいしそうだろ？」

「それはお前の思い込みだろ？」「・・・。」

ちよっシヨックガ（。。；） だった。なぜなら・・・

「よし、んじゃ、かんぱーい。」「かんぱーい。」

イギリスにも俺がどれだけ頑張って作ったか・・・ちよつと悪戯してみるか。

「おいイギリス、そこにあるタオル取ってくれ。」

「ん？ああ。」今だ！

「ん。」

「サンキュー。」

イギリスがタオルを取っている間やつのピザにタバスコをかけてやった。

これで火を噴きたい位の辛さを感じさせてやる！

「んじゃ・・・食べてみるか。」

来たッ！

「・・・なんだ・・・コレ・・・。」バタツ。

ピザを食べた瞬間、イギリスはその場に倒れてしまった。

「え・・・？なんで!？」

「ちょ・・・どうした！イギリス！」

タバスコを入れたはずなのに・・・あ。これ睡眠薬だったわ。

ふう、とりあえず一安心・・・じゃない！会議の資料を作らないといけないのに！

どうやったたら起きるかなあ？ん？よく見てみると、以外にかわいい顔をしているじゃない。

ただのツンデレかと思っていたけど。

「ん・・・スウ・・・。」

なんだこの寝息は！まるで女性のような寝息！

こいつが女性だったら間違いなく襲っていたね！

ん？口元にチーズが付いてるじゃないの。なんだかんだ言って食べ

たいんだね、本当は。
チーズを取ろうと指先をイギリスの口元に近づけた。

「ん」「うわあ！」

急に目を覚ましたので驚いてイギリスの体に倒れ込んだ。

「てめえ！俺がタオルを取っていたとき何をピザに仕込んだんだ！」

「さあ？」「さあじゃねえだろ！」

「だって・・・お前が俺のピザを侮辱したから！」

「別に・・・お前という時はちょっとふざけている時が楽しいだろ

？」「ぷっ

「何がおかしいんだ！」

この時、イギリスは本当にバカだなあと思った。

「だって、俺が今だってお前の体の上に乗っているのに、なんで怒らないんだ？」

「！！」「ほら。」

図星。

「ち・・・ちげえよ！」「はいはい。一緒にいて欲しいのね。分かったから。」

満足するまで上に乗っててあげるからね。「やめろって！」「本当は一緒に寝たいくせに」

「ちげえよ！」「なんなら腕枕もしてあげようか？」

「毛が気持ち悪いからいい！」「オツケーオツケー。腕枕はしないから一緒に夢の中に行こうね。」

なんて・・・ツンデレなお前を悪戯をしただけだったのに。

お兄さんもマジモードになっちゃったよ・・・それから一緒に二人で寝た。

イギリスは何を思っ腕の中にいたのかは分からないけど、やっぱり一緒に寝たかった。

っていうのは感じられた。素直なバカ・・・。

ー次の日。

「うわあああ！会議の資料全然終わってなあいつ！！」「あーあ。仕方ないな。俺が

付き合ってるよ。」会議には間に合わなかったけど・・・ま、いか！新しい仕方を見つけたし。

それに・・・取らせたのはタバスコじゃなくてもともと睡眠薬を取らせるために考えたしね。

ワザと・・・。イギリスと2人つきりになる時間が欲しかったから。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0514/>

君といたかったから。

2010年12月9日03時19分発行